



陣屋小だより

学校教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和6年6月3日
第3号

「わからない」って、言えていますか？

校長 保戸田雅之

5月の授業参観では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。学習の様子を初めて見てもらう1年生は、とてもうれしそうでした。いつも以上に学習に励む陣屋っ子の姿が見られました。



さて、授業中に問題の解き方などを確認する場面でよく耳にする「いいです。」や、「同じです。」という声。指導している教師は「みんなよく理解している」と、つい安心してしまいます。

しかし、「本当はわからないのに。」と思いつながりながらその場の雰囲気流され、わかったふりをしてしまう子が少なからずいます。中には、ノートに書いた不正解の解答をこっそり正解に書き換えようとする子もいます。これでは、しっかりとした学力が付きません。大切なのは、その場に合わせる協調性ではなく、わからないときに「わからない」とはっきり言える力なのだと思います。

相手に優しく、仲間と協力して物事を進めることが比較的上手な陣屋っ子ですが、その良さを生かしながらも、「個」が集団に埋もれてしまわないように注意し、「わからない」「できない」という意思表示も含めて、自分の考えをはっきりさせる指導を大切にすることが学力向上の一つの手立てであると考えます。

本校は、「あきらめずに学び続ける子の育成」をテーマに学力向上に取り組み始めました。まずは、「わかりたいこと」「できるようになりたいこと」「疑問に思い、解決したいこと」などを明確にさせ、学ぶ必要感をしっかりと高めさせながら学習を進めてまいります。

修学旅行を終えて

5月28日(火)29日(水)、6年生は一泊二日の日光修学旅行に行ってきました。出発時は雨でしたが、徐々に天候は回復して、一日目の午後以降は雨に降られることなく、戦場ヶ原では、高原の爽やかな空気をたっぷり味わい、心地よい鳥のさえずりを聴くことができました。

最高学年の自覚をもって過ごす2日間。昼食会場で、友達の分の靴まで揃えてあげている女子、「ごちそうさまでした。おいしかったです。」と旅館の方にあいさつをして食事会場を出る男子など、礼儀正しさが随所に見られました。

また今年も、6年生の子供たちの仲の良さ、仲間との関わり方の優しさを感じることができました。

「かしこく やさしく たくましく」の「やさしく」をしっかり実行できている6年生の姿に、誇らしさを感じた2日間でした。



明日は全校徒歩遠足

明日は、1～6年生混合の「なかよしグループ」で、新座市総合運動公園へ徒歩遠足に出かけます。



お弁当の用意等ご負担をおかけしますが、よろしくお願いたします。もし、可能であれば、行き帰りの見守りにご協力ください。